

福祉団体等より寄せられたご意見と課題の整理

～生活の状況について～

○日々の暮らしの中で困っていることはありますか。

協力団体等： 寒川町聴覚障害者協会
寒川町手をつなぐ育成会
寒川町視覚障害者福祉協会
茅ヶ崎寒川地区自閉症児・者親の会 ほか

※自立支援協議会委員にご協力いただき、肢体不自由の方々の意見も徴収しております。
※親子の会(子育ての悩みや様々な情報交換を気楽に話し合える交流の場)の勉強会に参加する機会がありましたので、この時にも意見を徴収しております。

ご意見の内容	課題	次期計画時での対応すべき施策
<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドヘルパーが不足していて外出できないことがある。 ・ガイドヘルパーが不足していて不安を感じる。 ・町の情報が足りない。(1人暮らしや聞こえる方のいない家族構成のため) ・ゴミの出し方、分け方がわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルパーの不足 ・障がい特性に応じた情報提供 ・生活支援 	

～生活の状況について～

○地域での暮らしの中で困っていることはありますか。

ご意見の内容
<ul style="list-style-type: none">・町内会の役員に自治会を辞めたらどうかと言われた会員がいます。障害者は面倒と思われているようです。先日の出前講座でも自治会に入って顔の見えるお付き合いをと言っていましたが、なかなか受け入れてもらえない現実もあります。地域差もあると思いますが、民生委員ともほとんどつながりがない会員もいます。・火事の際に情報をもらえなかった。(火災等は命にかかわる問題)・町民センターの食堂で、料理が出たときに声で呼ばれるので分からない。健常者の方に助けてもらおうが…。(この件は昨年度福団協として要望を出し、合理的配慮に努めるといった内容の回答をいただいている。)・発熱外来には、手話通訳者がつけられないため、会話に不十分です。遠隔手話通訳でも始めてください。・公共交通機関が少ないので自立での移動が厳しい。・駅の無人化・ワンマン運行など、単独行動しにくくなっている。



課題
<ul style="list-style-type: none">・障がいに対する理解・災害時の支援(情報提供)・コミュニケーション手段の確保・移動支援について



次期計画時での対応すべき施策

～障がい福祉サービスについて～

○サービスを利用する際に困っていることはありますか。

ご意見の内容
<ul style="list-style-type: none">・町内にショートステイ先がない。・移動支援が通勤、通学に使えない。 ファミサポは小学生で使えなくなるため、家族等、誰も対応できないときだけでも使えないか。 B型への通所にも使えない。親が送迎できなくなったらと不安。・通院介助を利用して助かっています。しかし、定期通院のヘルパーは確保できますが、急に通院したい時に確保できない。ヘルパー不足の状況の改善はありますか？・移動の支援(送迎) 在宅で過ごしているが、自宅～職場、または自宅～グループホームなどの送迎に親の負担が大きく老後が不安。 送迎の充実。また学校卒業後、力があっても送迎がなければ移動出来ないとなると送迎のある生活介護の選択をしなければならなくなる。 本人は仕事をしたい気持ちがあるのに選ぶ事が出来ない。学校卒業後の送迎が大きな問題。・移動支援 使い難い(自宅開始終了ではなく、通勤通学にも使えるようにしてほしい)・移動支援のヘルパー不足で希望通り利用できない。外出を支えるヘルパーの増員をお願いしたい。 コロナ禍で利用を控えていたが、今期から利用を再開しようとしたところ、人員不足が理由で断られた。家族が外出に付き添っているが、成人した子どもに高齢の親が付き添う事は体力的にも限界が来ている。家族以外の人と外出経験を積む事は将来の自立のために重要。・どのサービスも不足している。・困ったことや不満があっても言えない。・相談事業所が足りない(計画相談をやってもらえない)



課題
<ul style="list-style-type: none">・施設の不足・移動支援について・ヘルパーの不足・相談支援の不足



次期計画時での対応すべき施策

～障がい福祉サービスについて～

○サービスを使用してよかった点、改善して欲しい点はありますか。

ご意見の内容
<ul style="list-style-type: none">・入浴介助はとても助かっている。・町内にグループホームが欲しい。特に女性が入れる所が欲しい。日中型。・女性専用のグループホームを町内に作って欲しい。・町内でショートステイをする所が欲しい。・町内に自立に向けた宿泊体験(練習)のできる施設が欲しい。 入居を前提とした宿泊体験ができる施設はあるが、自立に向けて練習できる施設がない。宿泊体験(練習)中も変わらず通所・通勤できるよう、町内に施設が必要。・町から家賃補助を出して欲しい。・グループホームの家賃補助を再開して欲しい。 近隣市では市独自の家賃補助がある。他市のグループホームに入居しているので地域格差を感じる。 財政上難しいのであれば、県へ補助を積極的に働きかけて欲しい。・つくしの家では町内のみが送迎対象だが、町外のGHに入っても対応して欲しい。・移動支援について、起点が家から家ではなく、学校から家、作業所からショートステイ先へと確実に受け渡しができる所であれば、対応できるようにしてほしい。・通学・通所に福祉サービスを使えるようにしてほしい。 家族が送り迎えをしている場合、家族の事情で通学・通所ができなくなる。また、家族の負担になっている。 自家用車で送迎した場合、家族が高齢になり免許を返納すると送迎ができなくなる。通学については、学校再配置で距離が長くなる場合があり不安である。町の事業として、通学・通所に移動支援を利用できるようにしてほしい。・子どもの計画相談は受けてもらえない現状のため、計画を受けてもらえるようにしてほしい。



課題
<ul style="list-style-type: none">・グループホームの確保・家賃補助について・移動支援について・相談支援の充実



次期計画時での対応すべき施策

その他、ご意見・ご要望などありましたらご記入ください。

ご意見の内容

- 道路の段差とか側溝のふたがでこぼこで車いすでは押しづらい。
- 公共施設、商業施設の身障トイレにベッドの設置をしてほしい。全介助なので着替えができない。
- 町内で実施する選挙の点字公報を作してほしい。
- 町長の会見時には、手話通訳をつけてください。町民へのメッセージのためききたいと思います。(配信されているものは、字幕はついていますが、字幕ではわからない人もいます。)
- 親亡き後について 制度のしくみなどを身近に相談できる場所の周知。
- 親亡き後に定期的に様子を見に来て欲しい。本人が日常生活で困った時に相談に乗って欲しい。療育手帳取得に至らず、これまで福祉サービスを利用してこなかった。困った時は親が相談を受けてアドバイスしてきた。親が高齢になって支援できなくなった時に、本人は誰を頼ればよいのか不安がある。ご近所は本人の事をどの程度理解しているかわからないので頼れない。(会から相談支援事業所に対応できることを伝えた。他に自立生活援助もある。このような情報の周知が進んでいない。)
- 寒川町(仮称)健康福祉総合センター建設を実現してください。何年も要望を出しているが実現しない。町内には障がいのある方が総合的に利用する施設がありません。(仮称)健康福祉総合センターを中心に障害があっても地域で安心して暮らしていくためには、拠点が必要です。多様なサービスを集中して受けれる場所が現在の寒川には必要です。ぜひ、実現してください。
- 福祉避難所の新設、提携先を増やして欲しい。現在の提携先の社会福祉法人の施設は、同法人のグループホーム入居者の避難所にもなっている。寒川町からの避難者を受け入れられるか不安がある。また、備蓄物資は入所者とグループホーム入居者の分は保障されているが、提携先の避難者の分も保障されているのかも不安がある。
- 町内に直接避難できる福祉避難所が欲しい。家族と別行動をしている時に地震が発生した場合、本人はどこに避難すれば良いのかわからない。町内に直接避難できる福祉避難所があれば、平常時からそこに避難することを教えておくことができる。
- 情報を見てわかるよう、避難所にホワイトボードを用意して欲しい。
- グループホームをつくる事業者に対して備品の助成をうたっているだけなので、もっと積極的な働きかけはできないものかと思います。例えば空いている土地や家の紹介をホームページに載せるとか、町で歓迎しているアピールする。

課題

- 道路の整備
- 公共トイレ内の設備
- 障がい者への配慮
- 親亡き後の生活について
- 公共施設について
- 福祉避難所の設置
- 福祉施設の誘致

次期計画時での対応すべき施策

